

熊本県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和元年9月17日（火） 県庁本館5階審議会室	
出席委員氏名 ※50音順	秋野 裕子 （元、（公財）地方経済総合研究所 主任研究員） 天本 徳浩 （崇城大学総合教育センター 准教授） 井口 由美子 （熊本県行政書士会長） 柿本 竜治 （熊本大学大学院先端科学研究部 教授） 原島 良成 （熊本大学熊本創生推進機構准教授（法学部併任・行政法））	
審議対象期間	平成31年4月1日 ～ 令和元年6月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	0件	
条件付一般競争入札	2件	
指名競争入札	2件	
随意契約	1件	
談合情報	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	なし

意見・質問	回答
<p>1 会議の公開・非公開（一部）の決定</p> <p>○まず、議事の（１）、会議の公開・非公開について、熊本県入札監視委員会運営要領により「委員会は公開・非公開を決めるものとする」とあり、今回も議事の公開・非公開について、決めたいと思う。議事の中で非公開に該当する部分について事務局から説明をお願いします。</p> <p>○「議事（３）抽出事案の審議のうち総合評価の判定に係る審議部分と、「議事（４）委員間の意見交換」を非公開とすることについてよろしいか。</p> <p>○異議なし。</p> <p>○傍聴者（報道関係者）に説明する。今回の審議において、「議事（３）抽出事案の審議のうち総合評価の判定に係る審議部分」と、「議事（４）委員間の意見交換」については非公開と決定した。</p> <p>2 入札及び契約手続の運用状況の報告</p> <p>【H29～R1年度の熊本県発注工事の入札結果の推移（資料１）】</p> <p>○金額階層別の落札率で金額が高い方が落札率が</p>	<p>（事務局の提案）</p> <p>○委員会でを行う審議のうち、公開できない部分について事前に事務局で検討したので説明する。まず、「議事（３）抽出事案の指名理由及び経緯等の審議」のうち「総合評価判定に使用している「総合評価判定シート」については、県情報公開条例の「公にすることにより当該法人等又は当該個人等の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれ」に該当すると考え、不開示情報と判断する。</p> <p>次に、「議事（４）委員間の意見交換」について、今後の意見書作成に向けて委員間の率直な意見交換を行うものであり、審議会等の会議の公開に関する指針第３公開の基準「公正又は円滑な審議等が著しく阻害され、会議の目的が達成できないと認められるとき」に該当し、非公開と考えている。</p> <p>報道関係者入室</p> <p>（事務局）資料１～４を報告</p>

意見・質問	回答
<p>低く、安い方が落札率が高い傾向にあるのは何か理由があるのか。</p> <p>○なぜこのようになるのか分析すれば傾向が分かるのではないか。</p> <p>【入札不調等の発生状況について（資料2）】 ○意見等特になし</p> <p>【入札契約方式別発注工事一覧（資料3）】 ○意見等特になし</p> <p>【指名停止の運用状況一覧（資料4）】 ○事故発生したのが平成29年10月22日で、刑が確定したのが翌年4月3日とギャップが生じるのはやむをえないものか。</p> <p>3 抽出事案の指名理由及び経緯等の審議 【審議対象工事の抽出について（資料5）】 ※抽出委員から説明</p> <p>【審議対象工事（資料6）】 《随意契約》 （1）（改良）都呂々ダム管理設備データサーバ等取替工事 ○機器の取り替えということだが、初めてのことになるのか。</p> <p>○また同じような更新を行っていく可能性があるのか。</p> <p>○ソフトウェアが独自に製作したものであり、詳細な仕様は公開されていないというふうに書いてあるが、こういう形で納入されることはよくあることなのか。</p>	<p>○競争の問題もあるかもしれないが、基本的にはスケールメリットにより利益率の判断が働いた結果だと思われる。</p> <p>○研究してみたい。</p> <p>○刑の確定後になるためどうしても時期のギャップは生じてしまう</p> <p>○はい。</p> <p>○今回のサーバー等取り替えは、ライフサイクルコストを低減するために、部分的に取り替えて、設備の延命化を図るために実施している。このような部分取り替えはこの設備では今回限りと考えており、次の更新は全面更新になる予定。</p>

意見・質問	回答
<p>○一括取り替えでない限りは前にやったところが継続してシステムを構築し、10年に1回の更新も、そこが詳しいので継続されるという可能性が高いのか。</p> <p>○詳細な仕様が公開されればより競争性は高まるのではないかと。当初契約時に発注者としてプログラムの内容などを知ることができないものか。そのような契約に当初からしておけばよいのではないかと思うのだが、何か障害があるのか。</p> <p>○一般的にこのようなソフトウェアの専門業者であれば、ソフトウェアの内容さえわかればそのメンテナンス等もできるのではないかと。</p> <p>○詳細な仕様が公開されていないということであれば、会社が倒産などしたりした場合にどこか対応できるのか。何らかの形で、詳細な仕様が公開されていない場合、他のところが対応できないということが発生するのではないかと。</p> <p>○詳細な仕様が公開されていないというのは契約上請求する権利がないのだという意味だと思うが、そのような形で、当初の契約を結ぶべきではないのではないかと。そうでないと後のメンテナンスまで含めて、利益率が設定されることを誘発して、契約の透明性が、失われかねないと感じた。詳細な仕様が公開されていないということが、今後将来にわたっても随意契約の理由として正当なのだろうかというの是一般論として疑問に思った。</p> <p>○この辺のソースコードを公開するかしないかという著作権がどちらに行くのかということ。県が独自でシステムを組むものを発注し、それで開発された部分については、県に属するような契約</p>	<p>○システムの機械というのはその施設にあったソフトウェアを組んでくるため、どうしてもそのメーカーによって独自に作ったものになるということになる。</p> <p>○可能性は高いが、全面更新の場合は、必ずしも既設メーカーではないところもある。全面更新にあたっては、また入札を行うことになる。</p> <p>○このようなシステムは専門の技術とソフトウェアが必要である。県としては詳細な仕様の公開までは要求してない。</p> <p>○メーカーが撤退する場合は、装置の管理などは別の会社に引き継がれるなどされることが多く、これまでメンテナンスができなくなったという事例はない。仮にそのようなことになった場合は県の方から管理を引き継げるように相手方と交渉することになる。</p>

意見・質問	回答
<p>も多分できると思う。特許が含まれている部分は公開できないことになるが、その辺の仕分けが必要になってくるのかもしれないので、今後工夫されていかれてはどうか。</p> <p>《指名競争入札》 (2) 都留地区農業競争力強化基盤整備事業第19号工事</p> <p>○辞退が一者もなく、皆さんこの仕事をとりたいという意欲があると思われるが、このような場合は競争意識が働いてもっと低い入札金額になるのではないかと。今回非常に高い入札率となっているが、こういうことは多いのか。</p> <p>○予定価格が出ているのであれば逆に低く入札した方が、落札できる可能性は高いのに、99.数%の中に全者入っているのがどうしても不自然というか、仕事を取りたいのであればもっと低い入札金額でいいのではないかなど。</p> <p>(3) 阿蘇中部2期地区農道整備事業(広域道交)第14号工事</p> <p>○失格した会社が多かったのは結局、最低価格を各社が見積もり損ねたということが大きかったということか。</p> <p>○かなり失格のところが多かったが、阿蘇の方は、仕事がだんだん少なくなってきた、競争が高くなったのか。</p> <p>○先の説明と矛盾してくる。先ほどは人件費などが上がってきているので、高く落札しないといけなるとの説明があつて、こちらはもう本当にぎりぎりを攻めている。こういうのは地域差があるのか。</p>	<p>○今回のような工事で辞退はあまりないと思う。落札率が高い理由については予定価格や積算根拠を事前に公表しており、各会社とも大体同じような額になる。そのため、かなり高い落札率になったのではないかと。</p> <p>○今般の、建設業の状況を考えると、人件費や材料費の高騰があり、鹿本管内においても落札率はかなり高くなっている状況。今回もそのような建設業界の状況が出たのではないかと。</p> <p>○はい。</p> <p>○予定価格が出ているので最低制限基準価格は分かる。そこからランダム係数をかけるので、ぎりぎりの線で勝負に出た結果、最低制限価格を下回ってしまったというところかと思う。</p> <p>○地域差がないとは言えないが、塗装自体の人気もあると思うが、年度初めで仕事が手薄な時期な</p>

意見・質問	回答
<p> <<条件付一般競争入札>> (4) 熊本駅周辺連続立体交差(中部汚水道路改良その2工事) ○特になし。 (5) 国道218号(聖橋)防災安全交付金(橋梁補修)その1工事 ○特になし。 4 委員間の意見交換 (非公開) </p>	<p> ので、早く工事を取りたいという競争原理が働いたのではないかと思う。発注が一番多いのが年度末で一番少ないのが年度初めでになるので、競争原理が働いたと考えている。 </p>